



大阪市子ども会

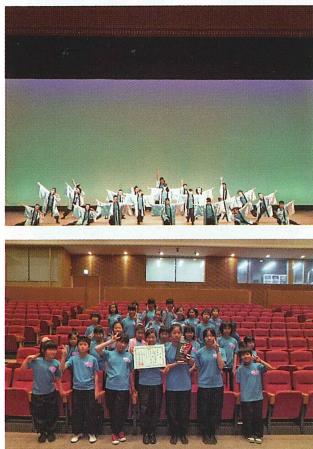


いぐせい



大阪市子ども会
育成連合協議会
発行者 中山 良明
平成26年4月1日

発行所：大阪市中央区法円坂1-1-35 アネックスパル法円坂 市子連広報調査部 Tel.6941-1116 Fax.6943-8906



優秀賞

東住吉区
(東田辺メチャハピーズ)



最優秀賞

西淀川区 大和田連合子ども会

平成二十六年三月一日（日）各区における子ども会活動の文化事業の発表会としまして、鶴見区民センターで第三十一回こども文化祭を皆様の協力の下で開催する事ができました。十二区代表団体と鼓笛隊第十八分隊が出演、また各区の文化活動（写真・絵画・書道等）の展示を発表していました。

第二十一回こども文化祭を開催

文化部長 永澤 美智子

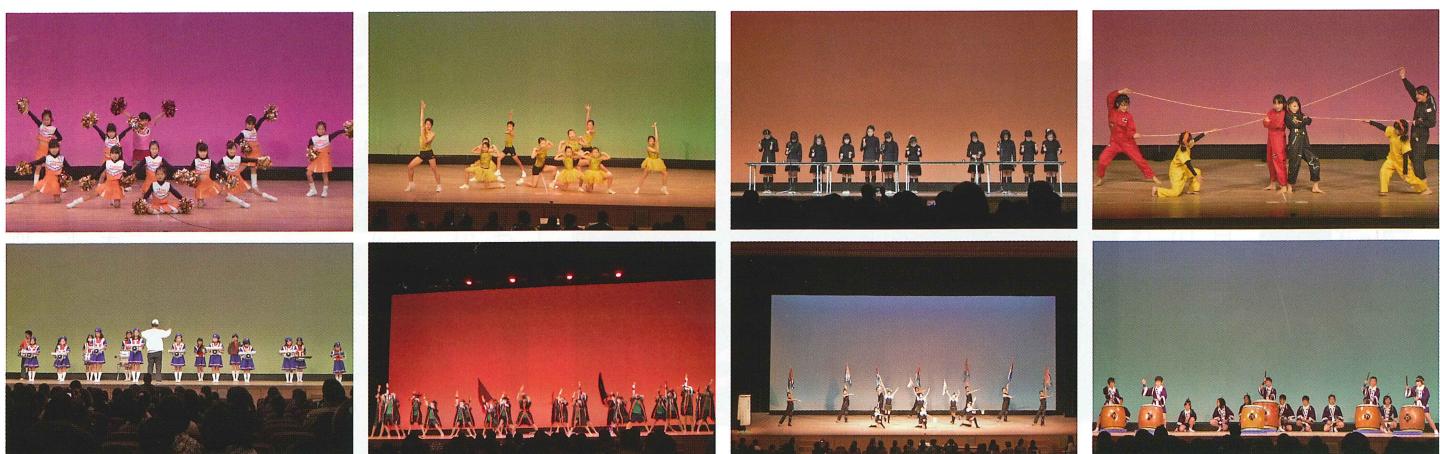
鶴見区 茨田北焼野連合子ども会

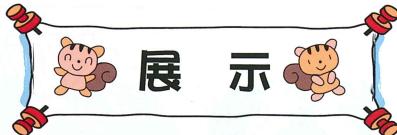
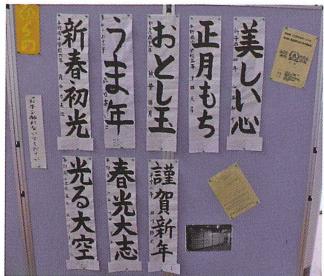
第二十一回こども文化祭 開催！



大きな舞台でのびのびと演じる子ども達の姿、それを陰で支える指導者たちの姿を見て、日頃の地域での子ども達と大人たちのつながりが強く継承されています。楽しさと感動をありがとうございました。

来年度も実施を予定しています。ぜひひとも各区の皆様こども文化祭をめざして文化事業の推進をお願いいたします。



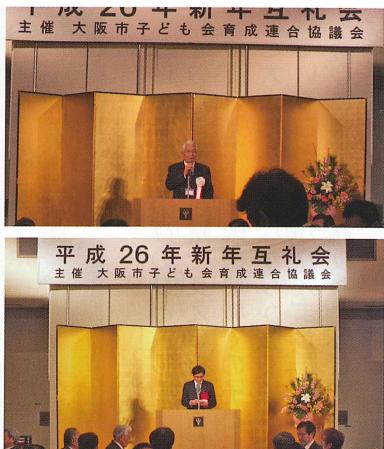


平成26年 新年互礼会 開催

平成二十六年一月十七日（金）にK・Rホテル大阪で大阪市子ども会育成連合協議会の新年互礼会を催しました。

当日は市子連加盟二十四区の会長、役員をはじめ、日頃青少年育成事業に携わっている十三団体の代表者総勢百九十四名のご参加を頂き盛大かつ盛況に開催できました。

最初に市子連中山会長の年頭挨拶から始まり大阪市子ども青少年局 奥野理事、一般財団法人大阪府こども会育成連合会 中山理事長の祝辞を頂きました。



乾杯はオリックス野球クラブ佐野部長で互礼会が始まりました。
区内だけでなく区を超えた交流も各テーブルで盛んに行われていました。



後半は市子連恒例のビンゴゲームが行われ、豪華賞品に一喜一憂して和やかな互礼会ができました。

各区子ども会活動報告

「お米作り体験」

浪速区

広報調査部 石井

浪速区こども連合協議会では、浪速区の子ども達と六月二日に都会では体験出来ない、田植え体験を企画いたしました。

奈良県の大和郡山の矢田山で子ども達とご家族、学校の先生方も個人的に参加して下さいました。総勢百二十名の参加で大変貴重な体験が出来ました。

矢田山では、自然がまだ残されていて、田植えの後の子ども達はスタッフが手作りで作られた竹のツリーハウスの様な所で走り廻って体を使って遊んでいました。



昼食には、手作りカレーでこどものお腹もいっぱいになり、子ども達は大喜びでした。

夏には、放課後や休みを利用して、かかし作りをし、秋に向けてのお米の収穫の為の草の除去やお米作りの大変さをしみじみと実感しました。

最終の稻刈りも十月に行い子ども達に力マを持たせ収穫をして、乾燥させまる所まで皆で体験しました。

後は、スタッフの方々でお米を精米までしていただき、おいしく頂きました。

子ども達に、良い体験が出来ましたことを、矢田山のスタッフの皆様には大変感謝しています。

有難うございました。

淀川区

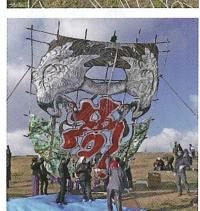
『新春たこあげ大会』開催

涉外広報部

淀川区では平成二十六年一月十九日に新春恒例のたこあげ大会が淀川河川敷西中島地区に於いて、淀川区役所・

大会実行委員会・淀川区子ども会連合協議会の主催で盛大に開催され、益々淀川区の新春風物詩として大勢の区民の楽しみになっています。

今年の大会は回を重ねること四十回を迎えました。当日の朝は今年一番の本格的な降雪となり一時は大会の開催も危ぶまれる程でしたが、午後一時からの開催に合わせて自作の凧を持って大勢の親御さんが集合する頃になると雪空も穏やかな空模様になり大会関係



神淀川区長や水本実行委員長の挨拶の元で六百名の子ども達が自慢の凧を持つて整列し「デザインコンクールが始まり審査員にアピールしていました。デザイン審査が終わるといよいよフライトコンクールが始まり、広い河川敷も六百名の子どもたちが一斉に凧を揚げると至る所で凧が絡まり大騒動！

時間前から大勢の親子連れが並び、講堂に敷かれた五枚の青シートが少ないほどでした。

六角形の凧の和紙をもらつて、それぞれ思い思いの絵を書くことから始まり、講師の説明を聞きながら、糊付け・竹ひご付け・糸付けまでが凧作りで児童のみで参加しているメンバーには青少年部会の役員が一緒になって手助けし、出来上がった凧は幼稚園から六年生の作ったすべての中から優秀な作品にメダルを賭けて評価します。

午後からは運動場で凧上げです。風もあり寒さも厳しかつたですが、元気一杯走り回つて風に乗つて上へ上がりすぎるのも沢山ありました。子どもと大人が走り回ると運動場が狭く「凧の病院」も大繁盛でした。

買えば何でも手に入る昨今、親や大人と一緒に物を作つてそれで遊び、充実感を味わつた満面の笑顔に触れ少子化が進む現在、親だけでなく地域の人たちの手助けの必要性を感じた



「旭区子連五十周年」

豊里連合子ども会

会長 橋詰 久美子

一月二十五日（日）午前十時から豊新小学校で、恒例の「凧づくり・凧揚げ大会」が開催されました。

時間前から大勢の親子連れが並び、講堂に敷かれた五枚の青シートが少ないほどでした。

六角形の凧の和紙をもらつて、それぞれ思い思いの絵を書くことから始まり、講師の説明を聞きながら、糊付け・竹ひご付け・糸付けまでが凧作りで児童のみで参加しているメンバーには青少年部会の役員が一緒になって手助けし、出来上がった凧は幼稚園から六年生の作ったすべての中から優秀な作品にメダルを賭けて評価します。

午後からは運動場で凧上げです。風もあり寒さも厳しかつたですが、元気一杯走り回つて風に乗つて上へ上がりすぎるのも沢山ありました。子どもと大人が走り回ると運動場が狭く「凧の病院」も大繁盛でした。

買えば何でも手に入る昨今、親や大人と一緒に物を作つてそれで遊び、充実感を味わつた満面の笑顔に触れ少子化が進む現在、親だけでなく地域の人たちの手助けの必要性を感じた

東淀川区

「旭区子連五十周年」

豊里連合子ども会

会長 橋詰 久美子

一月二十五日（日）午前十時から豊新小学校で、恒例の「凧づくり・凧揚げ大会」が開催されました。

時間前から大勢の親子連れが並び、講堂に敷かれた五枚の青シートが少ないほどでした。

六角形の凧の和紙をもらつて、それぞれ思い思いの絵を書くことから始まり、講師の説明を聞きながら、糊付け・竹ひご付け・糸付けまでが凧作りで児童のみで参加しているメンバーには青少年部会の役員が一緒になって手助けし、出来上がった凧は幼稚園から六年生の作ったすべての中から優秀な作品にメダルを賭けて評価します。

午後からは運動場で凧上げです。風もあり寒さも厳しかつたですが、元気一杯走り回つて風に乗つて上へ上がりすぎるのも沢山ありました。子どもと大人が走り回ると運動場が狭く「凧の病院」も大繁盛でした。

買えば何でも手に入る昨今、親や大人と一緒に物を作つてそれで遊び、充実感を味わつた満面の笑顔に触れ少子化が進む現在、親だけでなく地域の人たちの手助けの必要性を感じた

鶴見区

「収穫祭」

鶴見区

広報部長 松田 幸代

平成二十五年十一月四日(土)に芋掘りを行いました。

当日は好天に恵まれ、この日を待ち望んでいたたくさんの子どもや保護者が参加してくださいました。

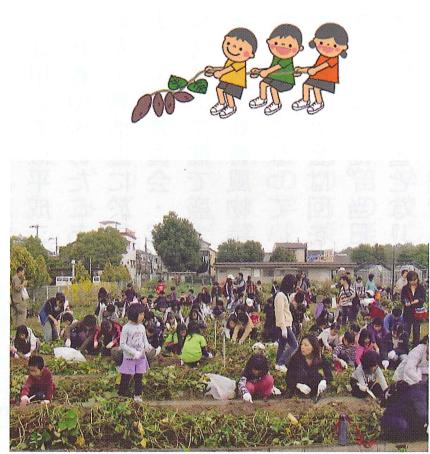
子どもは芋を掘る場所まで誘導されると待ちきれない様子で土を確認し、たくさんの芋を掘る気迫が伝わってきました。



収穫する楽しさ、巨大な芋が掘れた喜び、土の中から普段見ることのない自然とのふれあい、子どもだけじゃなく大人も楽しんだ一日となりました。

あちらこちらで巨大な芋が掘れたのか、喜びの声が聞こえてくる中、「キャーー」「ワーー」など喜びとは違う声が聞こえ見に行くと、子どもたちで工夫しながら掘っていました。

土の中から虫がニョロニョロ浮き上がりつて子ども達を驚かせていました。



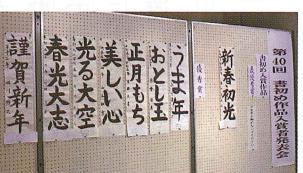
今年度も百点をも超える作品の中から最優秀賞・優秀・佳作の二十五人の方が当日表彰を受け、式典終了後記念撮影の時の子ども達の誇らしげな笑顔が印象的でした。

西成区子ども会育成連合会

西成区子ども会育成連合会
会長 住釜 芳浩

西成区では子ども会の認識を得ることが出来ず、昔のような活動がなかなか出来ません。

唯一書初め展が区の中心行事として行っています。



また、功労者表彰では区子連の行事に幾度もご協力頂いている、摂陽中学ボランティア部に受けてもらいました。

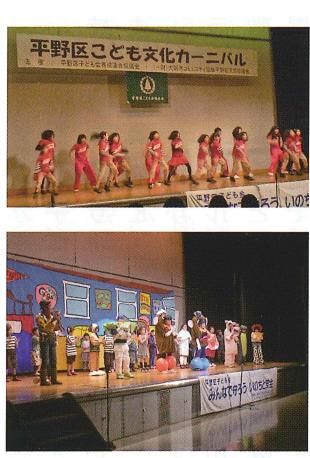
た。

第二部では、ステージ発表が行われ、各単位子ども会の鼓笛隊演奏・演劇・

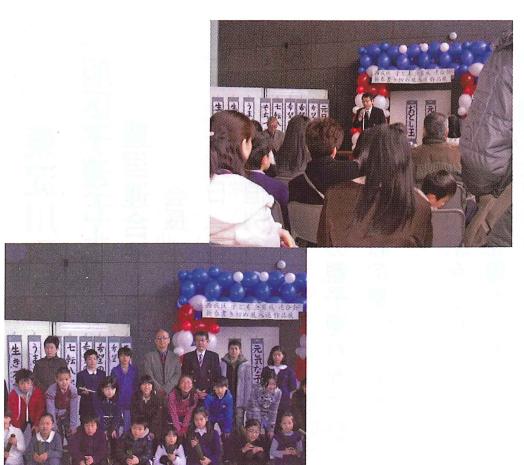
ミュージカル・ダンスなど七チームの子ども達の素晴らしい演目で大いに盛り上がり感激いたしました。

出演された各チームの皆様ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

これからも少しでも心に残る良い文化力一二バルにしていきたいと思いますので、各単位子ども会の皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。



今後も続けられる事とはもとより、単位数の拡大に繋がる事が出来るよう事を考えていきたいと思います。



西成区

西成区では、今年度も百点をも超える作品の中から最優秀賞・優秀・佳作の二十五人の方が当日表彰を受け、式典終了後記念撮影の時の子ども達の誇らしげな笑顔が印象的でした。

西成区子ども会の認識を得ることが出来ず、昔のような活動がなかなか出来ません。

唯一書初め展が区の中心行事として行っています。

単位数が少ないので募集の周知と収集は区内小学校と調整区域小学校の協力を得ています。

そのおかげで今年は千二百二十三点の応募がありました。が、運営に関しても今年度から事務局が無くなつたためにたくさんの問題や滞りがありましたが色々な協力も得て何とかクリア出来、区役所での作品展示と一月二十六日には区民ロビーでの表彰式を行いました。

た。

した。

これからも少しでも心に残る良い文化力一二バルにしていきたいと思いますので、各単位子ども会の皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。



平成二十五年度 中央研修会 報告

平成二十五年度

中央研修会をおえて

テーマになるべきでしょうし、その重さを受け止めて責任ある行動をとること。

又言葉の大切さという面でも考えさせられました。

平成二十六年二月十一日に平成二十五年度中央研修会がなにわのみやホールにて実施されました。

今年度は「本音に学び、大人の役割を考える」をテーマに公益財団法人モラロジー研究所社会教育講師伊賀斌彦氏を講師に招き、「次世代への価値ある贈り物」を標題とした講演をしていただきました。

社会環境が目まぐるしく変化してきている現状に対し、子ども会活動もいろいろ対応に苦心しているのが実状ですが、子どもに対しても豊かな心の持ち方をどう伝えるか、その為にどの様な心がけで指導するべきか考えなければなりません。

子ども達へのもつとも価値ある贈り物とは、贈られた子ども達を真に豊かにし、その子ども達に喜びを与えるものです。との内容でした。

心の持ち方がいかに大切か、

物質面でなく子どもに対する心

のケアこそが指導者も又子ども達と共に学んでいく大きな

指導研修部長 林 敏彦

中央研修会をおえて

テーマになるべきでしょうし、その重さを受け止めて責任ある行動をとること。

又言葉の大切さという面でも考えさせられました。

平成二十五年十一月十日(曜日)に文化センターにて、年に一度の鼓笛隊の大きなお祭り「みんなの鼓笛隊フェスティバル」が開催されました。

一年間がんばって練習した成果をはっきりし、各隊素晴らしい演奏と演者のご理解と協力の賜物と厚くお礼申しあげます。

プログラムよりちょっと再現したいと思います。

「第一部 みなさんこんにちは」
ファンファーレ

第一分隊(中央区)
大阪市子ども会の歌演奏
第一分隊(中央区)

あいさつ
激励のことば

来賓・役員・分隊長の紹介

《ご来賓》

橋本様(いちょうの会会長)

南様(元会長)

山本様(元会長)

藤明様(元隊長)

粥川様(元隊長)

誓いのことば

第三分隊(生野区)

安田花鈴さん

露原瑞枝さん

吉田菜佑さん

“みんなの鼓笛隊”
フェスティバル秋まつり

鼓笛隊隊長 河島 民子

ファンファーレ

第十分隊(都島区)

多くのご来賓をお迎えし、第五十一回も賑々しく楽しいフェスティバルとなりました。

又、あいにくの小雨の降る中、たくさん保護者・育成者が来てくださいました。

「第二部 元気で仲良く交歓演奏」各分隊順次演奏



第五十一回 “みんなの鼓笛隊” フェスティバル秋まつり 報告

第三分隊(生野区)
安田花鈴さん
露原瑞枝さん
吉田菜佑さん



【鼓笛隊 第二分隊(大正区)】

隊長 藤川 穎彦

市子連第二分隊 (大正区) 泉

尾北鼓笛バンド "ザ グリーン・アップルズ" は二月二日 (日) の「大正区こども文化祭」に出演し、開会のファンファーレに始まり、発表演奏のステージでは元気よく演奏をしました。



三学期ともなれば、これまで鼓笛隊活動を通じて学んできたこと、また練習に励んできたことなどがしっかりと身についてきて高度な曲も表現豊かに、全員一丸となって熱のこもった演奏を披露することができました。

現在の部員数は二十七名ですが、前年度はわずかに十七名という少なさで、これ以上減少すれば鼓笛隊活動にも支障をきたしかねない状態にありました。

そこで今年度より当地域の中

学校校下の隣接する四つの小学校に呼びかけて部員を募集し、合同体で第二分隊を構成することを目指しました。

区子連緒各地域の理事の方にも主旨を理解・応援していただきことができ、次に各小学校に出向いて、校長、教頭先生に鼓笛の楽しさや合同体の意義、また運営の方策など詳しく説明したところ、どの学校からも賛同してもらえ、新学期には学校を通じて部員募集に協力していただくことができました。

その甲斐あってこのたびは六名の新入参加があり、みんなで大歓迎です。以来、他校・・・といった分け隔たりもなく、みんな元気にそして仲良く鼓笛を楽しんでいます。

校区外から通つてることになりますが、道中の安全面を考慮しての送り迎えや、練習時などの準備当番、また隊の運営にも参加してもらうなど、保護者の皆さんにも積極的に協力をお願いしています。

この合同体としての組織構成は今後も推し進めてゆきたいと思っています。そしてこの小さな試みがもつと大きく輪に広がり、たくさんの仲間たちに門を開いた鼓笛隊になってゆけば幸いです。

【鼓笛隊 第二十四分隊(住之江区)】

隊長 杉本 和子

市子連鼓笛隊は昨年五十周年を迎えましたが、住之江区にはなかなか鼓笛

隊ができませんでした。

二十数年経つた昭和六十一年、ようやく粉浜地区に鼓笛隊を発足させ、二十四分隊として参加できることになりました。

発足当時から音楽の知識や経験のある指導者はおらず、現在もそれは変わりません。

「粉浜まつり」や、「文化の集い」など、地域の行事のほか区子連・市子連を合わせると年間十回ほどの行事で演奏しています。

練習は毎週土曜日に粉浜小学校をお借りして行い、今年はトランペットに力を入れようと現在がんばっています。

二月二日には、六年生を送る会を行いました。企画・準備・司会進行などほとんどを隊員の子どもたちが行い、「絶対音感ゲーム」や「ピシング大会」など楽しい送る会になりました。

隊員の子どもたちは確実に成長しており、頼もしく思いました。

【鼓笛隊】

市子連鼓笛隊前隊長 高島 成光

五十年前、市子連の役員や音楽愛好の育成者の中から、子ども会の鼓笛隊を作りたいとの機運が高まりました。

区に一隊の鼓笛隊を結成すれば、区の行事は盛り上がり、子ども会のPRにもなります。

ただ問題点も多く、資金・練習場所・音楽指導者等。実際に動き出すと大変です。その証拠に二十四隊結成された鼓笛隊が十四隊に減少しました。

他にもいろいろ原因は在りますが、先の問題点の一つが欠けたのが主な要因になっています。

私自身二十二歳より子ども会に関与していますが、市子連の鼓笛隊が五十年十二を迎えています。

自分自身びっくりしています。子ども会は、今一番必要な時ではないでしょうか。子どもは人間と人間が協力する方法や、仲間との交流を通して自主性や社会性を培う一番の場所が子ども会だと信じています。

異年齢の子ども達が集まる子ども会は、社会性を養う最適の場所ではないでしょうか。

子ども会の鼓笛隊が長く続いた要素に、音楽が好き、誰でも入会できる、お金がかからない、格好がいい、異年齢の集団、といろいろあるが、育成者や指導者が子ども会の鼓笛隊にこだわったことにあると思っています。

昔、鼓笛隊ブームがありました。年々派手になり批判も多く、淘汰されてゆきました。

市子連鼓笛隊は、子ども会の鼓笛隊として続く限り六十周年を迎えることが可能だと信じています。

【ドッジボール】

住吉区

第十一回ドッジボール大会は、低学年十チーム・高学年十五チームで行われました。

毎年優勝チームが異なるほど、各チームとも接近した力です。

小学校の体育の授業とは異なり、日本ドッジボール協会の公式ルールで行うことで、一味違うスポーツとなり、どの試合も接戦ばかりで、親子共々とても盛り上がる大会となりました。いつかドッジボールも大阪市各区対抗親善大会を開催していただることを最後にお願いします。



【綱引き】

住之江区

平成二十五年度 綱引き大会
平成二十五年九月二十三日、場所はマグフットサルスタジアムにて、低学年（一～三年生）と高学年（四～六年生）に分かれての綱引き大会が行われました。

今年は特別参加として住吉区も加わっての綱引き大会となりました。

低学年は、総当たり戦の勝ち点制。高学年は、三組に分かれての総当たり戦の勝ち点制で各組上位一チームとワイルドカードの二チームを合わせた八チームで決勝トーナメントをそれぞれ実施しました。



【相撲】

阿倍野区

日本の伝統スポーツへの理解を深めるため区内の小学校が一堂に会し、お互いに交流を深め・認め合う良い機会をつくることを目的として、阿倍野区では小学生相撲の区大会を毎年継続して開催しています。

応援では、コーチ役の大人達が子ども達に負けじと、気合い十分で声を枯らして綱を引く子ども達を鼓舞していました。

昼食タイムでは、日本フットサルリーグに加盟するシユライカー大阪の選手達とフットサル対戦を行いました。間近に見るプロのプレーに、子ども達も大人達も大喜び！ 大変に盛り上がりました！



マグフットサルスタジアムのスタッフの皆様、大会運営、大変にご苦労様でした！

そして、ありがとうございました！

低学年の部 優勝 安立FCジュニア

高学年の部 優勝 平林連合Aチーム



る時は多くなる傾向にあります。開会式では実行委員長の区子連会長・担当校の校長先生・地域の連合町会長の挨拶にはじまり、ルール説明・準備体操をして三面の土俵にて競技開始となりました。

開会式のPTAが毎年三十名ほど協力していただき、受付・自転車整理を担当してコミュニケーションもとれる行事となっています。

各学校の校長先生方の応援もあり子どもたちにとっては楽しい一日でした。

男子は上半身裸で半ズボンの上に簡易まわし、女子は上着を着用し、めくれないようスクール水着を下に着用しての参加となります。

毎年熱の入った競技が見られ観戦者を楽しませてくれました。

平成二十六年度表彰者

【全子連表彰者】

平成二十六年一月十四日

『個人の部』

大正区 安藤 幸男
東成区 谷下 文一



【指定都市表彰者】

平成二十五年十一月二十三日

『個人の部』

都島区 向井 祐貴子
港区 平川 克己
東成区 伊藤 主昭



『団体の部』

鼓笛隊 南住吉三丁目
子ども会鼓笛隊

鼓笛隊 北田辺少年鼓笛隊

子ども会鼓笛隊



【市子連表彰者】

平成二十六年二月十一日

『個人の部』

都島区 井口 勤
中央区 乾 利和
港区 箱崎 昭子
天王寺区 河上 吉美
天王寺区 箱崎 修治
浪速区 田中 静代
天王寺区 田中 耕治
天王寺区 寿尾 誠
天王寺区 ユキ子



西淀川区

川口 康代
平安 義之
行貝 武良
山口 優子
智恵子

淀川区

川口 晴彦
吉田 政博
藤田 教夫
吉田 美佐保

東淀川区

高嶋 浩
会龜 幸進

旭区

鶴見区 住吉区

城東区

高嶋 浩
会龜 幸進

東成区

吉田 晴康
吉田 美佐保

淀川区

藤田 教夫
吉田 美佐保

鶴見区

吉田 晴康
吉田 美佐保

城東区

吉田 晴康
吉田 美佐保

東成区

吉田 晴康
吉田 美佐保

淀川区

吉田 晴康
吉田 美佐保

城東区

吉田 晴康
吉田 美佐保

東淀川区

吉田 晴康
吉田 美佐保

城北連合子ども会

吉田 晴康
吉田 美佐保

城北連合協議会

吉田 晴康
吉田 美佐保

住之江区

吉田 晴康
吉田 美佐保

城北連合協議会

吉田 晴康
吉田 美佐保

中央区

吉田 晴康
吉田 美佐保

港区

吉田 晴康
吉田 美佐保

天王寺区

吉田 晴康
吉田 美佐保

大正区

吉田 晴康
吉田 美佐保

浪速区

吉田 晴康
吉田 美佐保

都島区

吉田 晴康
吉田 美佐保

港区

吉田 晴康
吉田 美佐保

天王寺区

吉田 晴康
吉田 美佐保

都島区

吉田 晴康
吉田 美佐保

天王寺区

吉田 晴康
吉田 美佐保

編集後記

各區広報部長さん、鼓笛隊の皆さんに「ご無理をお願いして、いろいろ記事を書いて頂きありがとうございました。南プロツク会議で少しでも変わった「いくせい」を作ろう！また広報部長会議での意見を含め少しでも大勢の人を見て読んでいただきたい気持ちで二年間頑張つきました。



大阪市こどもカーニバル2014 開催決定

四月二十七日に大阪城公園
太陽の広場にて「大阪市こどもカーニバル」
を開催することが決まりました。
皆さん、ご協力よろしくお願いいたし
ます。

